

THE DAY

NEWS LETTER



2025 / 10 / 1 Noboru Morishige

YouTube 森繁昇チャンネル

友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを読んでもくださる皆さん 2025 年 10 月 1 日

秋の夜長 一人で 思い潜める
生きている目的は 何だろう
虫の音に そば耳立てていると
静かに夜はふけゆく 時を忘れて

歌：「時を忘れて」より

皆さん、その後、元気におられるでしょうか？ 皆さんが元気におられるのを心から願っています。

秋です！「食欲の秋です！読書の秋です。」昔よく聞いた言葉ですね。コンサートでは、私は、ここで、イエスの言葉を、引用するのですでしたね。

「人は、パンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」

今晚、夕飯を食べながらも、今回のゴスペル・レター（神の良い知らせのことば）を読んでもくださいな。

今回書くことは、最近イエスから教えていただいたことで、全ての人が知るべき「神の、良い知らせ」です。

人には、二つある。何が？ 見られたら恥ずかしいところ。

創世記 2 章と 3 章から抜粋して書き出しますね。どうか、それらの章を全部読んでみてください。

神である主は土地のちりで人を形造り、その鼻

にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。神である主は東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。

（2：7～9）

神である主は人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

（2：16-17）

人とその妻は、ふたりとも裸であったが、互いに恥ずかしいと思わなかった。

（2：25）

さて、神である主が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。蛇（悪魔）は女に言った。「あなたがたは、園のどんな木から食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」女は蛇（悪魔）に言った。「私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。しかし、園の中央にある木の実について、神は、『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ』と仰せになりました。」そこで、蛇（悪魔）は女に言った。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

そこで女を見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというそ

の木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。このようにして、ふたりの目は開かれ、それで彼らは自分たちが裸であることを知った。そこで、彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作った。(3:1~7)

男湯と女湯

私は車で旅に出る時は、銭湯や温泉に時々行きます。

男湯と女湯、男女別々の入り口から入り、別々の湯に入るんですね。これから書くことは、前にも書いたような気がしますが、ずいぶん昔、私が京都の亀岡で銭湯に行った時のことです。古い銭湯でした。ガラガラっと横に戸を開け、番台のおばさんに風呂代を渡そうと、「いくらですかね？」多分私はそう言ったと思います。おばさん、一言も言わず、私をじっと見てるのです。変だと思つてると、「ここ、女湯ですけど!」「ウォー————ッ!!!」と言いながら慌てて!!! 外!!! (私の長い経験から、だいたい右側が男風呂だったと?失敗)

見られたら恥ずかしいもの その1

アダムとイブは、神に逆らうまでは、二人とも裸だったけど、互いに恥ずかしいとは思わなかったのです。しかし、神に逆らうこと(罪を犯すこと)で、ふたりは、肉体的に、見られたら恥ずかしいと感じるようになったのです。体の下の方、腰のあたり、いわゆる、隠しどころです。だから、彼らは覆いを作ってそこを隠したのです。見られたら恥ずかしい思い。それは、罪からの産物です。それは、今日も同じです。ですから、男湯と女湯があるのです。このことは、人には、もう一つ、見られると恥ずかしいところがあることを、神は優しく人に教えようとしているのだと私は思うのです。

見られたら恥ずかしいもの その2

それは、人の心です。自分の心です!

神に逆らって、善悪の知識の実を食べた後で、人は善悪の判断ができるようになったのです! その実を食べることによって、自分たちが悪を犯したことを、その時すでに知ったのです。神に逆らったその心、その「心」が、神の前に恥ずかしい気持ちになり、神を恐れたのです。その後で書かれています、人は神から隠れたのです。神に会いたくない。神を見たくない、神に見られたくないの気持ちでしょう。やった行いというより、神に逆らった「心」のことだったのです。(3:8)

このことは今日も同じです。人は、それぞれ、子どもの時に物心がついてから、一生を終えるまで、全ての人は、そうです! 全ての人は、善悪の判断ができるのです。誰かに教えてもらわなくても普通にできるのです。善悪の判断ができるということは、人間以上の超現実的な神の力です。それは、最初の人であるアダムとイブの時に、始まったのです。それは、神のプランAではなかったのですが、それ以来、人は死ぬようになりました。

恥ずかしいと思わない人の心

真の神を知りたいと求めるまでは、人は、他の人のことだけを思って自分を見るのです。人は、他の人の心を見ることはできませんし、他の人も私の心を見ることができないのを知っています。しかし、全ての人は、自分が行った全てのことに関して、自分が判断して行った「心」を知っています。それは、人が、真の神を知りたいと心から願う時、自分が、神の前に裸であることを知って、恥ずかしいものであることを知るための神のプランB?なのです。

ゴスペル(イエスの良い知らせ)

アメイジング・グレイスを書いた奴隷船の船長、

ジョン・ニュートンは、その歌の1番で、

”that (grace) saved a wretch like me.

「神の恵みは私のような惨めな外道（げどう）を救ってくださった」と言い、2番に、自分の心を、こう言い表しました。

T’was grace that taught my heart to fear and
grace my fear relieved.

「私の心に、神を恐れる心を起こさせたのは、神の恵みだった。そして、神の恵みと神の愛を知った後で、神の恵みは、私の心の恐れを取り除いて下さった。」（私訳）

真の神を心から知りたいと求める時、神は、その人に、自分が神の前に恥ずかしいものであることを気づかせ、そして、神を恐れる心を起こさせるのです。神は、全知全能で、人間を土地のちりから造られた方です。人間はその方の前で横柄な心でいることができるでしょうか。陶器師は、自分がろくろで作った土の器が気に入らなかったら、それをひねりつぶして、またもとの土に戻して、別の器を作ることができないでしょうか？

しかし、神は、ここにゴスペルをあらわされたのです。神に逆らい、善悪の判断ができるようになった人間は、自分の造り主を知ろうともしたがない愚かな者になりました。しかし、そのような、善を選ばず、悪を選ぶ人間のために、父なる神は、そのひとり子を、代わりに十字架につけて罰したのです。そして、その真実と真理が現実であるのを示すため、イエスを死人の中から生き返らせたのです。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。（ヨハネ3：16）
これがゴスペルです。

**「事実、全ての人は、善悪の判断ができる」
に基づいた現在の世界**

「パラダイム・シフト」（ある特定の分野や時代

において、当然だと思われていた考え、価値観、見方などが、劇的に変化すること）。

比較的新しい言葉ですが、「パラダイム・シフト」というのを、前にも紹介しましたね。

聖書のゴスペルに関しても、創世記1章1節からはじめて、創造主の神のこと、神の愛のこと、神が下さる永遠の命の良い知らせ等、ゴスペル全てに関して、神を知らない人々が、神の真理を偽りと取り替え、イエスのゴスペルに対する人の思いを世界的に変えていきました。それらは、神の真理を人々に知らせないようにする暗闇の力、悪の力によるものです。その一つに、チャールズ・ダーウィンの進化論があります。ダーウィンは暗闇の力に使われたのです。暗闇の力は、進化論を使って、天と地の全てのものの造り主である神の真理を、世界中の人々の間で、全く変えてしまいました。一つのパラダイムシフトです。「聖書は嘘だ!」と。そして、今もなお、その同じ暗闇の力がこの世（神を知らない人々の間）で働いています。こんな話をしたら、私、森繁昇がちょっと変になったような感じを持たれるかもしれませんが、私は今まで通りの森繁昇で、変になってはいませんよ。

インターネットが普及して以来、それまで全く想像しなかった量の情報が人差し指1本で誰でも知ることができるようになってきました。確かに、それらの中には、正しくない情報や、作られた情報も闇の力で掲載されているでしょう。しかし、これまで報道されてきた多くの出来事の真相や真実がこの数年、知ろうと思えば知れる時代になってきたのです。どれだけの偽りや嘘や策略が、人の知らない間に、また人の後ろで巧みに仕組まれていたかということがわかってきました。（もちろん、神は、初めから、それら全てを知っておられます。）それらのことは、7月に書いた（マタイ24章）イエスの言葉からも理解できます。弟子たちのイエスへの質問のに対する答えの第一声が、「人に惑わされないように気をつけなさい。」

です。

善と悪・光と闇・神と悪魔

私が皆さんに知っていただきたいのは、光です。正義です。真の神です。神の愛です。神の恵み。イエスにある永遠の命の希望です。しかし、悪魔もいるのです。

聖書に記されている「善と悪」「光と闇」「神と悪魔」は現実です。

しかし、それらのことは、「ただのおとぎ話」「子どもの面白い作り話」等と、(特に、神と悪魔に関して) 長い歴史の中で、特に、20 世紀以降は、テレビ・映画、漫画、ビデオ、アニメ等、いろんな配信技術を使って、悪魔は巧妙に、その考えを人々の心に入れてきました。しかし、人の心の中にある、「善悪の判断ができる力」は、なくならず、全ての人が初めの人と同じように、自分の心の中に悪をする力があることを知って生きてきました。人類の全ての悪、邪悪は、その大小にかかわらず、神に逆らっている罪から発しています。創世記 3 章 1～3 節を、もう一度見てください。悪魔が、イブに質問した時に、イブは神から言われたことをはっきりと知っていて、悪魔にそれを

正しく答えています。それでも、その実を食べたのです。このことは、人が、悪を行う時、それが悪であると知っているということなのです。人は、光に来なければ、暗闇の支配から出られないのです。「そのことって、そんなにたいそうなことなんですか?」「はい、人生でいちばんたいそうなことです」

これから、この世は、ますます暗くなります。人は、自分から光のところに行き、自分の罪を神に認め、イエスの愛を頂き、全ての罪を赦していただくのです。その時、神のパラダイム・シフトが個人的にその人に起こり、その人は神の子となるのです。

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。(ヨハネ 1:12)

それが、悪魔に勝つ、たった一つの方法です。私たちが悪魔と戦うものではありません。悪魔が恐れて、この方に対して何もできない光である神と一緒に、私たちは進むのです。そうすれば、悪魔はいつも逃げ去ります。だから、大丈夫です。

Noboru Morishige

秋・冬の LIVE Information

11 月 7 日(金)	桃山学院中学高校		
11 月 22 日(土)	神戸煉瓦倉庫 K-wave	神戸ハーバーランド (JR 神戸駅より徒歩 8 分)	078-361-7717
12 月 6 日(土) 7 日(日)	新里チャペル	群馬県桐生市新里町新川 527-1	0277-47-6049 (八町)
12 月 10 日(水) 午前 10 時	群馬キリスト集会	群馬県高崎市金古町 190-1	027-372-6961
12 月 14 日(日) 午後 1 時	厚木キリスト教会	神奈川県厚木市妻田北 4-7-7	046-222-3379

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町 2 丁目 17-24
FAX ▶ 0833-91-6492
E-mail ▶ thewindisblowing@hotmail.com
振替口座 ▶ 01330-4-93687 ザ・デイ

HP / thedaywill.com

Noboru Morishige
P.O.BOX 1666
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A
TEL ▶ 808-966-9252

